

★神戸の集いから

★石濱紅子のデリシャスパーティ

作家の石濱恒夫さん、紅子さん親娘は、ヨットで太平洋を横断した冒険親娘だが、なんとこんちは、山彦製菓から“紅子の旅愁”というお菓子を、紅子さんの幻想的な絵と、恒夫氏の書の親娘コンビで発売。



パーティ風景



ペーター・ルーカス氏を囲んで

スイスの山々を想わせる冥想的なフルートの音が神戸ポートピアホテルのバルの間に響いた。

★スイスのフルーティストペーター・ルーカスを囲んで

「誘います」とあるように円筒型で、ポンとふたをあけるとおせんべいをホワイトクリームで巻いたロマンチックなお菓子が飛びだし

て来た。

★スイス領事、山腰夫妻、ペーター・ルーカスを囲んで

も、サンタルチアをそれぞれが歌い出して、なごやかな宴となつた。

スイス領事、山腰夫妻、辻井英世、持田洋、国友重紀、大岡雅一、遠藤和実、柿沼祐一、ミハエルライン

マンさんら多彩な顔ぶれだつた。

★JBAの総会

初めて神戸で開かれる



緊張の技能コンクール出場者

会へ岩瀬庄治会長の56年度秋季総会が、去る九月六日、オリエンタルホテルで開かれ、設営を担当した神戸支部へ神崎支部長のメンバードは大奮闘。

懇親パーティでは、神戸太鼓やUCCコーヒー館に出演中のサンバチーモの出

演のほか、カクテル作りの腕を競う「技能コンクール」

が行なわれ、全国の各支部から選出された16人が参加した。学科試験や課題カクテルのほか、創作カクテルの部では「ブルースカイ神戸」「アフタヌーン・ポートピア」など神戸にちなんだ彩色豊かなカクテルが披露され、集まつた350人の観客を楽しませた。

♥小泉パーティご案内

小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や愛好会によって健全なご交際のお手伝いをいたします。身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

神戸マリッジへ(無料)

楽しいご婚礼のお買物をご予算に応じてプランニングし、神戸の一流の専門店をご紹介いたします。

△協賛店

家具の江戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき
紳士眼のニッケショールーム・和装のみよしや
旅行の日本旅行・他各種の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は
事務局 〒650 中央区江戸町100 高砂ビル510
コミュニティサービス内窓392-0200 小泉正巳

(社)日本パーティナー協

会へ岩瀬庄治会長の56年度秋

季総会が、去る九月六日、

オリエンタルホテルで開か

れた。ポートピア'81開催中

ということで初めて神戸で

開かれ、設営を担当した神

戸支部へ神崎支部長のメン

バードは大奮闘。

懇親パーティでは、神戸

太鼓やUCCコーヒー館に

出演中のサンバチーモの出

演のほか、カクテル作りの

腕を競う「技能コンクール」

が行なわれ、全国の各支部

から選出された16人が参加

した。学科試験や課題カク

テルのほか、創作カクテル

の部では「ブルースカイ神

戸」「アフタヌーン・ポートピア」など神戸にちな

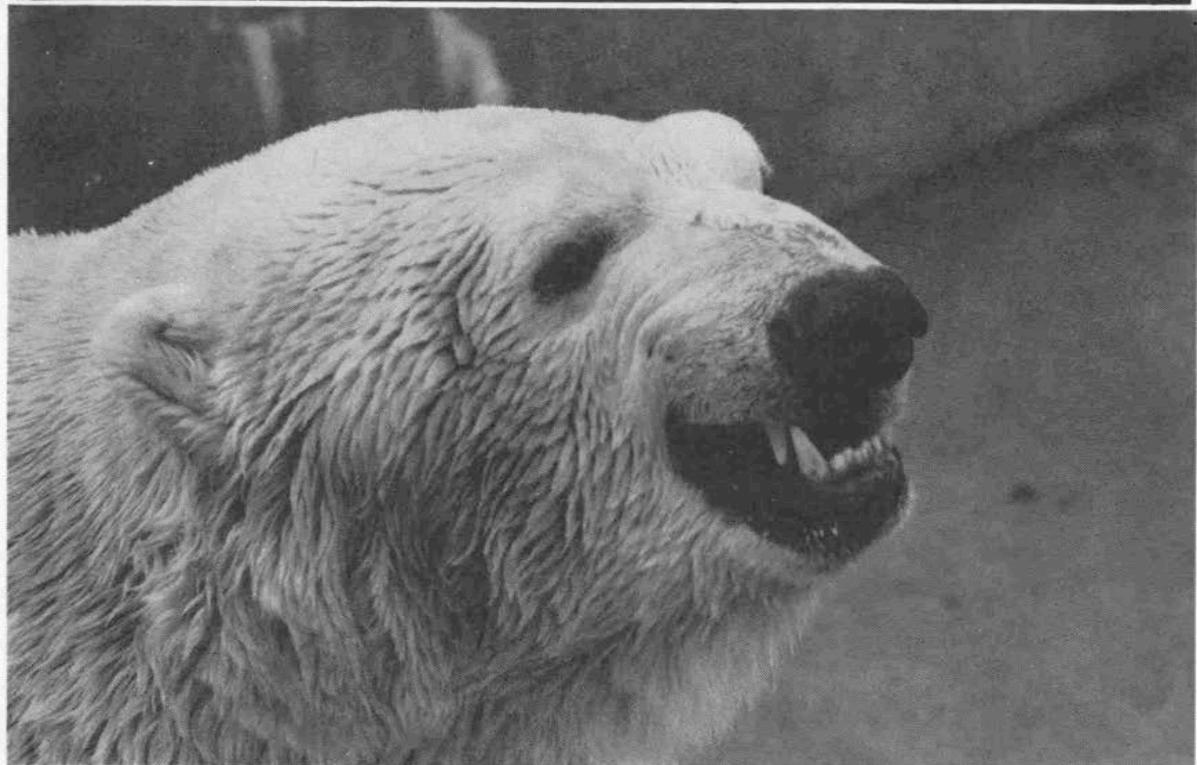
んだ彩色豊かなカクテルが

披露され、集まつた350人の観客を楽しませた。



動物園飼育日記 — 192 — 龜井一成

ユーモア動物園
シロクマにパンキ！



フレッシュ9時半キダタローです（ABC朝日放送ラジオ）にレギュラー出演させて頂いて、何時の間にやら、八年。

何故か、関西弁、いや神戸弁をひたすらしまっておいで、標準語らしき言葉で話そうとする私。

キダタロー「神戸には、そんな上等な動物はおれしまへん。あれはよその動物園や。神戸にいるのは、ヤギと二ワトリ。それになんとかいうチンパンジーがいるぐらいや！」

亀井「ちやんとおりますよ、キダさん。見落したんですよ」

タロー「いや、皆さん、王子動物園にはシロクマなど、何べん行つても、見たことあれしまへん、おりまへんのや、いるのは天王寺動物園です」

亀井「キダさん、無茶いわんとて下さい。カバの西側丘の上におりますよ」

タロー「え？ あれ、シロクマですか？ 皆さん、分りました。王子動物園のシロ

クマは、亀井さんが茶色のクマ

にベンキを塗つたんですね」

亀井「そんなことあれへん。う、とこのは日本一白くてよう肥つとるんや。キ

親に育てられたんですか！」

飼育担当の安福さん

「はい、今まで母親の側にいたのを、ちょっと借りてきました。母親がおとなしいものだから、子供のトラまだが、こんなになってしまつて…」

まるでネコだ。あの猛獸らしくガオーと吠えたてるところがワンカットほしい。カメラマンさえ、こらあかん、グルルとのどを鳴らしている、とあきらめてしまった。

動物園生れで動物園育ち、のトラは、世代を重ねるほど、家畜化していく事実は否定できない。しかし、今年



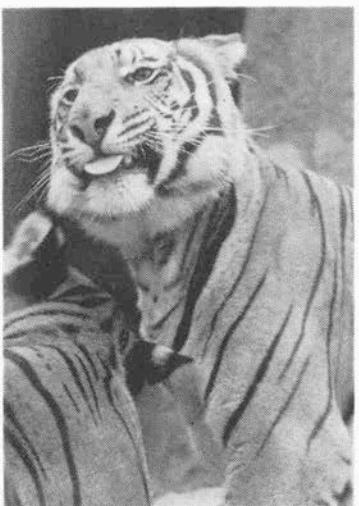
「フレッシュ9時半キダタローです」の録音中。（手前がキダタロー氏）

お返しした言葉
亀井「そんなことあれへん。う、とこのは日本一白くてよう肥つとるんや。キ

は、まぎれもなく神戸弁である。
何としても我家である王子動物園をけなされると、無礼に思ってしまう。というよりは、負けたくないライバル意識が、反射的に顔をのぞかせてくる訳だ。これがつまり、いい言葉でいえば郷土意識というものはなからうか。何かにつけて、上野ではこうだ、いや大阪ではこんなことやつている、と比較されるだけで、負けじ魂が湧いてくる。もちろん、タイガースファンである。

テレビの方は「お早よう朝日です（6ch、AM 7：15）」での録画を、動物園の休園日（水曜日）にやっているのだが、残念にも巨人のマジックが出だした去る日、何とも可愛いいトラの赤ちゃんを紹介することになった。

亀井「このトラ、人工で育つたのではなくて、ほんとの親に育てられたんですか！」



トラじゃなくてネコトラなんですね！

の子供ほど、おとなしいトラが生れたのも、珍しいと、

「ありがたいファンからの贈り物」
夏休み後半のある日曜日、パンダよりも王子動物園に来て下さった人でかなりにきわいを見せた日の出来事。

「一日、一〇〇グラムきつちり大きくなってくれます。」

またしてもネコを扱う要領でトラの子を手玉にとつて見せてくれたと

乾アナウンサー

「分かりました。まるで阪神タイガースでありました！」

さて、毎火曜日のオンエヤーはここで終っていたのであります、インタビューをする

「エッ！何のことですか。そんなこと聞いてません！」

「私、彼が大の巨人ファンであることであります、知らぬはずがない。

「こんなものが貼ってありました」

この後、この貼紙、どうなったか、当の私自身、一度

もお目にからず今もって不明！」

△第四幕▽この貼紙を見ている入園者のカラー写真と便りが朝日放送のキダタロー氏の手許へ届く。

タロ一「『このクマはシロクマではありませんアハハ。これはうまい達筆や！そやけどちょっと気になるのは、

亀井さんや。悪者になつとのどちがいまつか！』

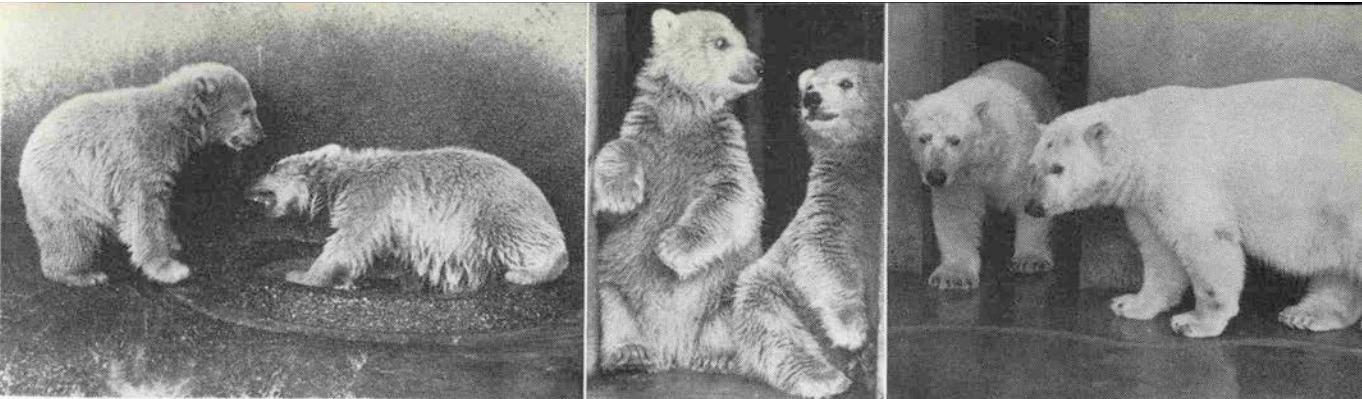
△第五幕▽事件後のラジオ出演（金曜日）
亀井「ありがたいことです。ユーモアたっぷりの貼紙事件。あれ以来、シロクマを見る人が増えました。」

「えらいすいまへん。おふたりの大ファンですね。えらいことになつて申し訳なく思っています。ほんまにすみまへん！」END
「はい、熱狂的な巨人ファンです！」

「只今のはまるで手玉にとられたタイガースであります。」

した」と、やれなかつたユーモアのなさを、後になつて、くやまれてならない私であった。

ベンキを塗っていない（？）証拠写真。左：1969年モスクワより移入（1才）中：少し大きくなって2才に。下：3才になると真白に。



こんにちは赤ちゃん



「ハダカでもさむくないもん」
太田裕子ちゃん／神戸市須磨区

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大柄町1番18号

芦屋保健所東隣

芦屋 (0797) 31-1234 代表

Orthodontist



播磨矯正歯科

神戸・元町 ☎ 391-5288



ビジネスに、ショッピングに
三宮で一番便利な
自走式立体モータープールです



- 収容台数 300台
- 月極駐車可
- 年中無休
(8:00AM~11:00PM)



磯上モータープール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873

小山乃里子の ノコチヤン

ノコちゃん

華麗なる食べある記

△69▽ 天ぷら・季節料理

—

幸

△70▽たこ焼の蛸壺

二一

★二代目、三代目と30年来のお客さんもある二幸

「これから二幸さんに行くのよ。センター街でバツタリ出逢った友達にそういうと、「へえー、いいなあ、あそここのうなぎおいしいもんねえ、いっぱい食べて元気出しゃ」。背中をポンとたたかれた。たしか、季節料理と聞いてたのに。うなぎ屋さんのかしら。センター街を突き抜け、トアロードを左に。日東館の山つ側っていうと、この眼鏡屋さんの筋、小じんまりとしたたずまい、まだ新しいのかしら。戸を開けると白木の巾広いカウンターが目にに入った。コの字型で、真中に調理場。ひのきのカウンター、新鮮な魚を入れたガラスの箱、器のたぐいまでびかびかにみがかれている。

改装して三年ということで、開店は昭和二十一年、花隈から京町、そして今の場所でももう十四年目、やはり最初はうなぎの店としてスタートなさつたらしい。だから今でも「二幸」といううなぎと思う人が多いのだろう。

うか。もちろん夏場は評判のうなぎはある。
ママの福島和子さんおすすめの麦焼酎、大分の「吉四六^七」のロックをいただきながら、まずはゴマドウフ。お月見みたいにすすきの糖が横に。おわんのふたをとつてみると、唐草どうふが目に入った。いわたけを入れたもので、模様がなんともきれいだ。味付けがまたいい。一度揚げてゆずの香りでいたという鰯のだんご。しめじが三本寄りかかっている。茗荷のおすし、茗荷を梅酢につけたものだそうだが、なんともいえない香りと口当り。海老のたき身にポテトの細切りをまぶして揚げたのもおいしいと思う。もなく口の中へ。甘がれいとけんいかのお造りもまたしかり。ああいい匂い、大きなほうばの葉の上で、あわびがぐつぐつい出した。葉に合わせた天ぷら、今日は海老、きす、かき揚げ、れんこん、ぎんなん、海老に山椒の葉を巻いて揚げたもの、好みで、だしかお塩で食べる。笹寿し、一見ちまき風、すし飯の中に山椒の実が入っていて、自身の魚でにぎったものを色





季節感あふれる料理の数々

「麦焼酎（吉四六）は私の好きなお酒のひとつ」と話す豪爽のママ、福島和子さん



「麦焼酎（吉四六）は私の好きなお酒のひとつ」と話す豪爽のママ、福島和子さん

★王子をふんだんに使ってとろけるようなたこ焼

蛸の壺のおっちゃんは、何をかくそう、かくすこともないが、我がカモネギのメンバーである。例の、麻雀好きが集まつて作った会であるが、おばちゃんと二人、ちよっと身體を悪くしておられた時期をのぞいてはほとんど出席である。別にたこ焼きを商売だから、九ピンばかり集めるという噂も聞かないが、好きである。そして、草野球の審判もやつてくれる。我がゼロとか、神戸二紀とか行動美術などの試合、ずい分朝の早い時間だったが喜々としてきててくれた。他の人がやつたなら、ちよいと文句の一つもいたげな連中が、おっちゃんだけには黙っている。今日も、ガラガラと戸を開けると、奥にいたおっちゃん、こないだ北京に、なんと三十六年ぶりに行つて来たよ、いやあ、変ったのなんのって、おい、ノコちゃんに生ビール、俺にも……てなことで、料理の話な

もあでやかな笹の葉で包んだもので、京都などでは時々あるらしいが、お酒を飲んでも、これは食べられる。最後に、山中ぬりの大ぶりのお椀、秀平わんというらしいが、鯉にかたくり粉をまぶしたもの、はも、松茸、薄く切つた銀杏、季節の味と香りがいっぱいの中身で、おわんを両手でかかえていると、本当にあーおいしい料理をいただいたという実感がこみ上げてきた。

秋からはてつりもある。そうそう、二幸自家製という塩から、ゆずの皮の細切りをのつけて、つるりと口の中に消えたが、余韻のさわやかだったこと。二代目、三代目のお客さんも訪れる理由はこの辺なのかしら。

てんぶらコース5000円 二幸コース6000円 (一品500円) さしみ1800円 (正午~午後2時 てんぶら定食2500円)

中央区三宮町3丁目 331-3560 正午~午後2時 午後4時~10時 日祝休

蛸の壺



左上／大餅 左下／小餅 中央／玉子焼（たこ焼）
右／包餅

36年ぶりに訪れた北京の話にゴキゲンのおっちゃん、木村憲吾さん

んぞ聞く寒閑氣ではないのである。ビールを一口飲んだところで、目の前にたこ焼きが並んだ。ふんだんに玉子を使つたたこやきはふんわりと上品で、三つ葉の浮いたあつたかいおだしにつけて口の中に放り込むと、歯にコリッと蛸が当る。さめてくるとふんわりがくつちやりという感じになるので、これはあつたかいうちに食べなくてはいけない。

こここの名物は、たこ焼きと、もう一つ、いや二つ、三つ、おっちゃんが北京にいらした頃に食べ歩いて（その頃は全然別の仕事だった）、あまりおいしかったのでやつてみたという大餅、小餅、包餅がある。大餅は、肉ミンチとネギをメリケン粉で包み込んだもの。その上に、福島、敦賀、阿波の味そを合わせてのつけてある。こんがりとこげ目のついた大餅は、たこ焼きとは反対に、カリッとした口当たりとみそミニンチのからみ合いを楽しむ。小餅は、ゴマがいっぱいの小さなパン（もちろん自家製）の真中に切れ目を入れ、これはまたミニンチとネギをはさんだもの。中国式ハンバーガーという感じで、もこっとしたパンと、さらしネギがよく合っている。包餅は、北京ダックをアレンジしたもの。薄く焼いたメリケン粉のパンに、豚肉とキュウリの細切り、ネギがくるつと巻かれ、おみそとからしがびりつときいておいしかった。

昭和二十九年にお店を開き、今の場所で十六年、壁には何やらわけのわからぬ漢詩を書いた紙がベタベタ。あれはどなたが、と聞けばおっちゃん、あー、壁がよぎれできたら、僕が書いて張つてるんです、と笑う。棚の上に稻畠人形がずらり。奥には七福神のお人形。いずれも素朴であったかいお顔立ち。その下に鴨居玲さんの絵、こちらの壁には中西勝さん、おっちゃんの交友関係の広さと人柄をしのばせる店内で、まだおっちゃんの北京の話が続いている。

玉子焼 400円 五目焼 500円 餃子 350円 大餅 500円 小餅 400円 包餅 400円 定食（正午～午後1時）450円
中央区三宮町3丁目22 391-1033 正午～午後10時 水曜休
(祝日の場合は木曜休)

ブルゾンで大いにお洒落を楽しもう

●ブルゾン—オールマイティ

藤原 ブルゾンとは、"はおる"という意味のフランス語で、従来のジャンパーと違って語感からいってもとてもファッショナブルに感じますね。ここ数年ブルゾンの人気が高まってるようですが……。

高橋 ええ、特に今年は大流行ですよ。

志向が強くなってきたせいでしょ

うか。綿素材が圧倒的に主流を占めていますが、今年はそれにダウンブルーフ加工を施したもののが流行っていますね。綿独自の堅いタッチを柔かく仕上げ、汚れも落ちやすくなっています。

金丸 ジャンパーとブルゾンの違

いで一番に感じるのはブルゾンは機能性があるということ。そしてビッグになって肩巾に余裕があり着やすいですよ。デザインにもバ

リエイションが増えて、お洒落、スボーツ、レジャーエtc、と適用性も広いから伸びてきたんでしょ

う。今の感覚にフィットしてる。

藤原 僕はものぐさだから、脱いだときかさばらずポンと置けるのが気に入ってるんです。

金丸 カラー的にみるとダークですね。僕はもともとダークカラーが好きなんです。汚れが目だたないから仕事着としてすごくいいで



・スコッチを飲みながら話そうじゃないか/4

金丸 正博 高橋 滉隆 藤原 保之

〔金丸建築設計室〕

〔ゼントハウスブルゾンコーナー〕〔フォトグラファー〕

